

4. 心理学における研究・実験 5問 (出題率 3.2%)

ブループリント大項目の⑤⑥

問題 No	解答 No	科目	項目	正解	5894 人 再現正答率
43	43	心理学研究法	心理学における実証的研究法	4	21.9
81	81	／心理学実験	心理学における研究倫理	4	73.3
83	83		観察法	3	83.2
136	136		実験計画の立案	2	44.0
150	150		実験計画の立案	2	70.7

NO43 心理学における実証的研究法

全体正答率 21.9% (受験生の約 7 割が 1 つの誤答肢に手中した)

心理学における実証的研究手法のうち、特に乳児期の発達について聞く問題。馴化 - 脱馴化法、スティルフェイス実験、選好注視法、期待違反法について聞かれていた。

【正解】期待違反法の定義が正解

●コメント 研究法の基礎用語の問題。どのような手法かまで説明できると望ましい。

NO81 心理学における研究倫理 全体正答率 73.3%

実験の参加者に生じた疑念やストレスを取り除くため、実験終了後に本来の目的を説明することをなんというか。

【正解】デブリーフィング

●コメント これも基本用語の問題。フィードバック、インフォームド・コンセント、ディセプションなどの用語も押さえておくことが望ましい。

NO83 観察法 全体正答率 83.2%

観察対象者に起こりそうな行動の一覧表を用意し、観察結果を記録する方法は何か。日誌法、行動目録法、トランスクリプト、行動描写法、場面見本法。

【正解】正解は行動目録法である。

●コメント これも基本用語の問題。他の選択肢についても、内容を押さえておくことが望ましい。

NO136 実験計画の立案 全体正答率 44.0% (受験生の約 5 割が 1 つの誤答肢に集中した)

新しい学習法の効果を検証するための実験計画の問題点。

実験参加申込順に最初の25人を新しい学習法をする実験群、次の25人を従来型学習法をする統制群とし割当てるというやり方の問題点と改善点。

【正解】実験群と統制群に無作為に25人ずつ割り当てる、というのが正解

●コメント 申込順に群を割り当てることにより、各群の間で英語学習の効果以外の、学習への意欲や動機づけの違いといった要因が結果に影響を与える交絡が生じる可能性が疑われる。そのため、新しい学習法以外の要因を取り除くため、25人ずつ無作為に実験群と統制群に割り当てる必要がある。

NO150 実験計画の立案 全体正答率 70.7%

Müller-Lyer 錯視の図形において斜線の角度が錯視量に与える影響を調べる実験として適切なものを選択する。

【正解】ランダムに矢羽根の角度が異なるように刺激を呈示する

●コメント 刺激の順序により錯視量に影響を与えないようにするため、全試行で刺激をランダムに呈示する。